

2年目 小中一貫教育 ● 連載 No.20 ●

生徒から見た小中一貫校 vol.2

～東部校生徒会インタビュー～



■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-12227

各小中一貫校の生徒会にスポットを当てる学校訪問取材の第2弾は東部校中学校部生徒会！

生徒会活動や生徒から見た小中一貫校の良さ、アピールポイント取材しました。



生徒会執行部インタビュー

一人ひとりが主人公の

学校づくりを目指して

(写真左から)
 (生徒会長)
 (副会長)
 (執行委員)

松本 利幸さん
 川久保拓海さん
 幸田 昌哉さん
 岸川 文音さん

小中一貫校東部校舎東部校中学校部生徒会は、生徒会執行部（生徒会長、副会長、執行委員）、専門部（生活・放送、保健体育、給食、美化、学習、図書）から構成されており、各専門部は各クラスから2人ずつ選出され活動に取り組んでいます。

生徒会長の松本さんは「一人ひとりが主人公」、「互いに助け合い、作り上げる東部校」、そして「自覚をもつ」をスローガンに掲げて小中学校の連携を深める活動に取り組んでいます。

過ごしやすい学校生活を目標に、執行部が中心となり、毎朝校門前であいさつ運動を行っています。

松本さんは「生徒のお手本となり活動する責任を常に抱いています。全校集会など生徒の前に出て活動することも多く、自信にもつながっています」と振り返りました。

▶生徒会長の松本さん



11月の定例教育委員会のお知らせ

日時 11月13日(木) 13時30分

場所 市役所 第2委員会室（自由に傍聴できます）

■問い合わせ 教育委員会 教育総務課 ☎75-13450



生徒会委員会の司会や活動の運営や、企画を担当する副会長の川久保さんは「全体を見通す力や気配りの大切さを実感しています」と活動での経験を振り返りました。

体育祭の応援団長を務めた川久保さんは「小学部の団長と連携した練習など小中の連携を深める企画に取り組む、その他にも市内の福祉施設への暑中見舞い書きや年賀状書きをはじめ、小中共催での論語カルタ大会など年間を通じた企画があります」と笑顔で語ってくれました。

執行委員を務める幸田さんと岸川さん。年間を通して取り組むアルミ缶、プルタブ回収活動では、回収状況をグラフ化して校内に掲示するなどの工夫をして児童生徒への呼びかけに取り組んでいます。

幸田さんは「委員として率先して児童生徒の行動につなげることができるよう常に意識しています」と話し、また岸川さんは「一貫校となり小中のまとまりが強くなったと実感しています。日々やりがいを感じながら頑張っています」と自身の活動をそれぞれ振り返りました。

▶あいさつ運動の様子



小中一体となった取り組みで児童生徒の成長を目指します

小中一貫校東部校舎東部校



古賀 一哉 校長

東部校中学校部生徒会は、生徒会長を筆頭に「一人ひとりが主人公」をスローガンに、小中一体となった合同行事や交流活動を企画、運営し、非常に心強く感じています。

また、異学年の交流活動として生徒会の体育委員が中心となって小学部中学校部合同の縄跳び大会を企画してくれました。児童生徒が互いに協力し合いながら取り組む姿を見て互いにより刺激を受けっていると実感しています。

『命の授業』を通じた学びを後輩に伝える手作りの授業

9年生による『生と死を考える授業』

命の大切さや思いやりの心を育むことを目的に、東部校で取り組んでいる、生と死を考える授業。東部校では、小中合同授業の一環として9年生がこれまで学んできたことを小学部児童に伝える手作りの授業に昨年度から取り組んでいます。

授業では、嬉しい時や悲しい時の心の色を表現する「命の色」、「命から連想することは」や幸福感の高低によってこれまでの人生を一本の線で見つなぐ「ライフライン」など工夫にあふれた内容で命の大切さを伝えます。



▶自分史を作成するライフラインの授業

多久市教育の日

日程 11月9日(日)

内容 市内全学校の公開授業（午前）

中央公民館での健康教育講演会（13時30分）
 保護者はじめ地域のみなさんの多数の参加をお待ちしています。ともに、多久市の小中一貫教育について考えましょう。